
2018年12月期 第1四半期 決算説明資料



CNC超小型立形研削盤
USG-3

株式会社 太陽工機

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

業績・配当予想の修正

通期業績予想・配当予想の修正

上方修正により、6円増配し年間80円を予定

(百万円)	2017年度	2018年度			
	通期	通期			
	実績	修正前	修正後	増減	対前期比
	①	②	③	③－②	③/①
売上高	7,363	8,000	8,800	800	19.5% 増
営業利益	966	1,050	1,200	150	24.1% 増
(売上高比率)	(13.1%)	(13.1%)	(13.6%)	0.5 point増	
経常利益	956	1,040	1,190	150	24.4% 増
当期利益	653	700	790	90	20.9% 増

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計	1株当たり純利益	配当性向
2017年度 実績	—	0円00銭	—	70円00銭	70円00銭	222.43円	31.5%
2018年度(修正前)	—	37円00銭	—	37円00銭	74円00銭	238.24円	31.1%
2018年度(修正後)	—	40円00銭	—	40円00銭	80円00銭	267.24円	29.9%

決算概要

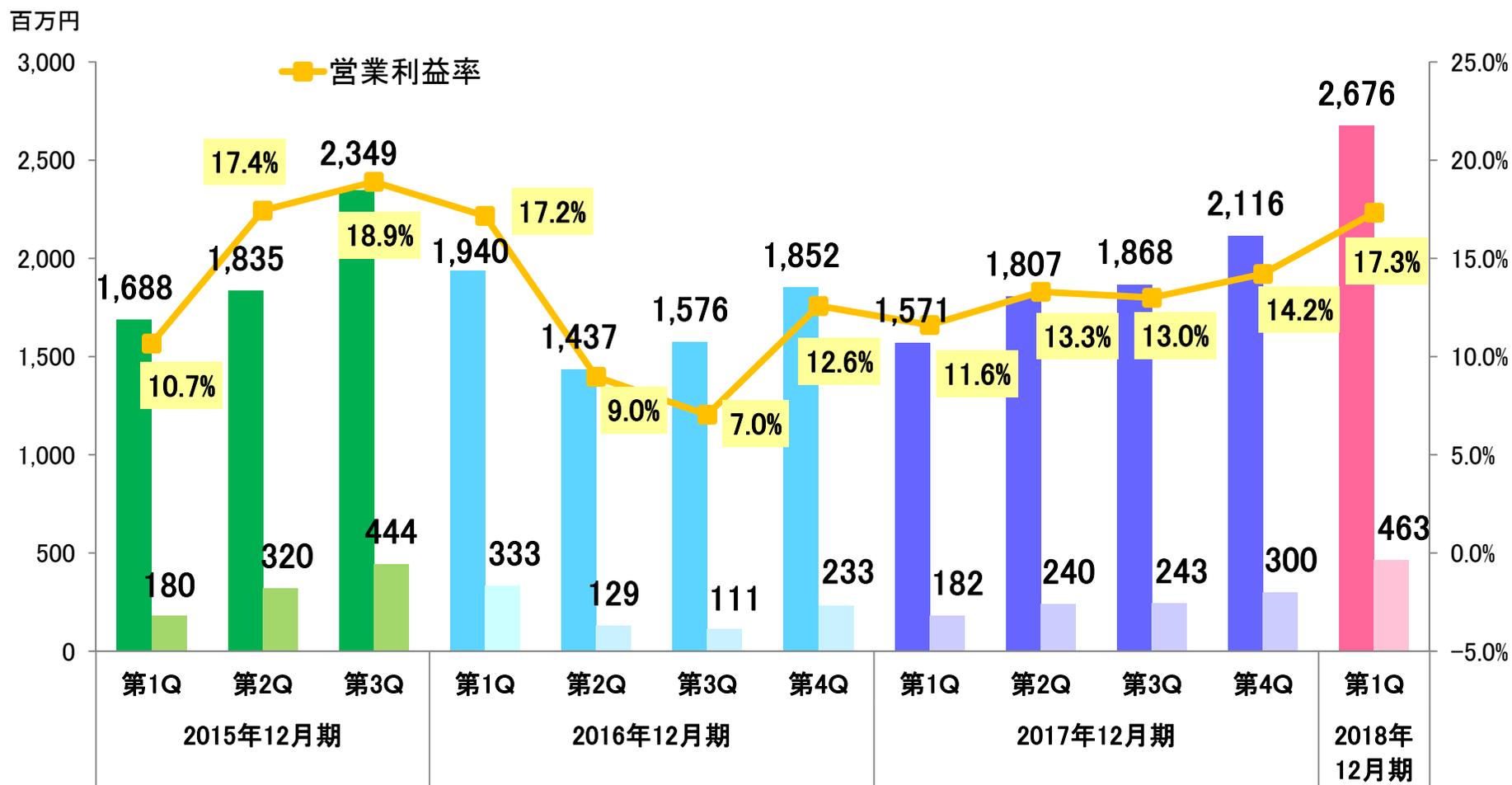
損益計算書(P/L)

四半期別で過去最高の売上と利益を達成

(百万円)	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	
	実績	実績	対前年比
売上高	1,571	2,676	70.3 %増
営業利益	182	463	154.1 %増
(営業利益率)	(11.6%)	(17.3%)	5.7 point増
経常利益	179	463	157.9 %増
当期純利益	120	312	159.0 %増

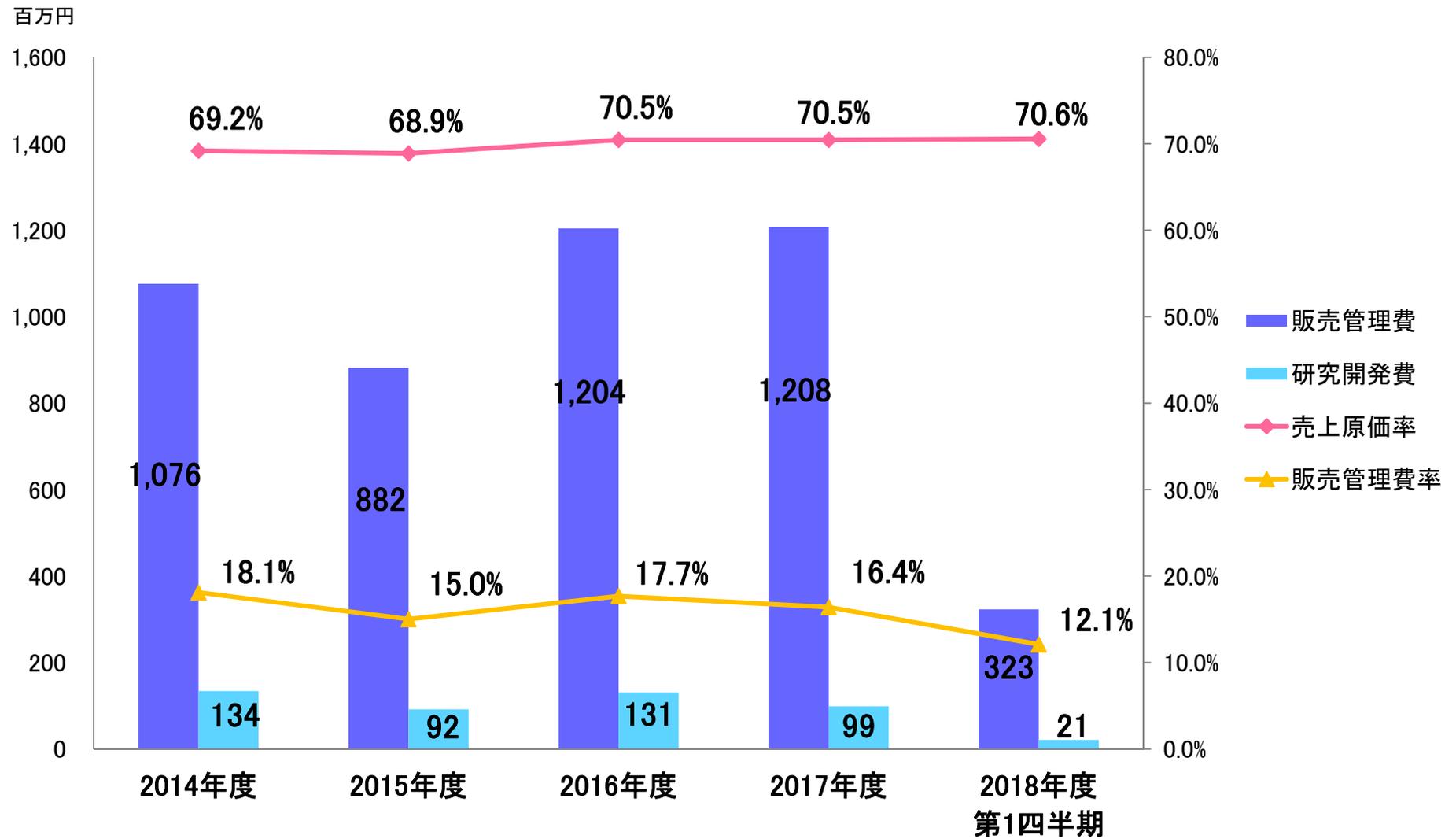
売上高・営業利益(四半期別推移)

2018年度は一段階上がり、高い営業利益率を確保



※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

売上原価率・販売管理費率



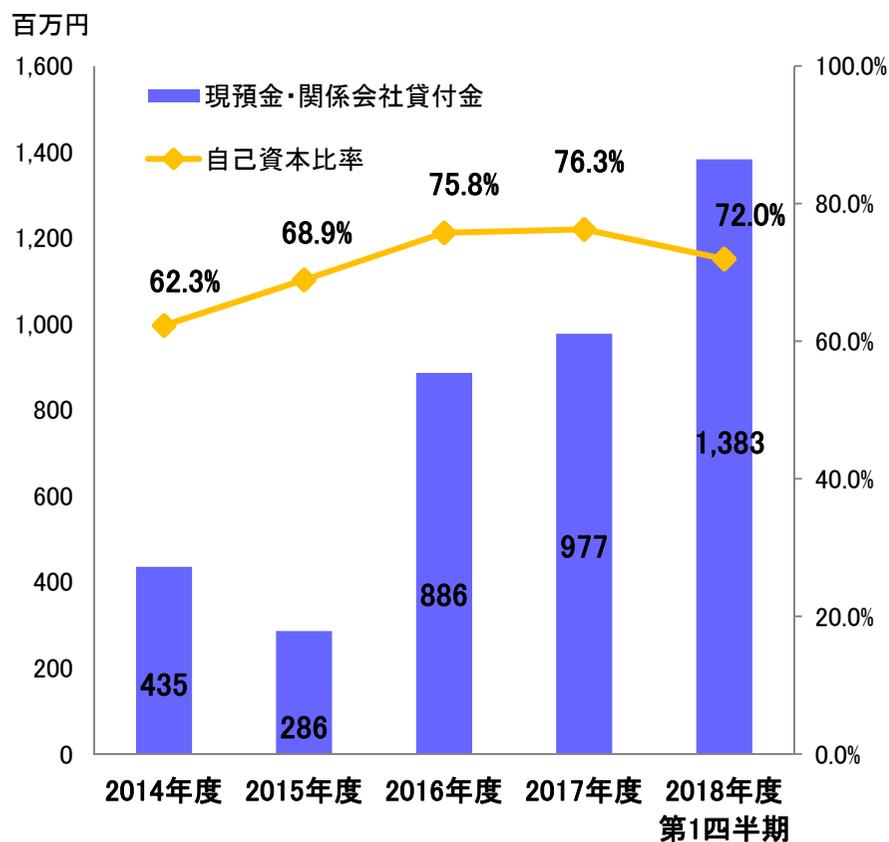
貸借対照表(B/S)

(百万円)	2017年度	2018年度		(百万円)	2017年度	2018年度	
	12月31日	3月31日	増減		12月31日	3月31日	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	4,655	5,155	500	流動負債	869	1,275	406
現金及び預金	477	783	306	買掛金	327	502	175
売掛金	1,564	1,856	292	未払法人税等	198	163	▲ 35
棚卸資産	1,994	1,805	▲ 189	製品保証引当金	58	74	16
関係会社短期貸付金	500	600	100	役員賞与引当金	0	21	21
繰延税金資産	77	78	1	その他流動負債	284	513	229
その他流動資産	41	32	▲ 9				
固定資産	1,151	1,146	▲ 5	固定負債	509	491	▲ 18
建物	562	554	▲ 8	リース債務	484	468	▲ 16
土地	297	297	0	長期未払金	24	23	▲ 1
その他有形固定資産	181	171	▲ 10	純資産	4,428	4,534	106
無形固定資産	27	31	4	株主資本	4,428	4,534	106
投資その他資産	82	91	9				
資産合計	5,807	6,301	494	負債純資産合計	5,807	6,301	494

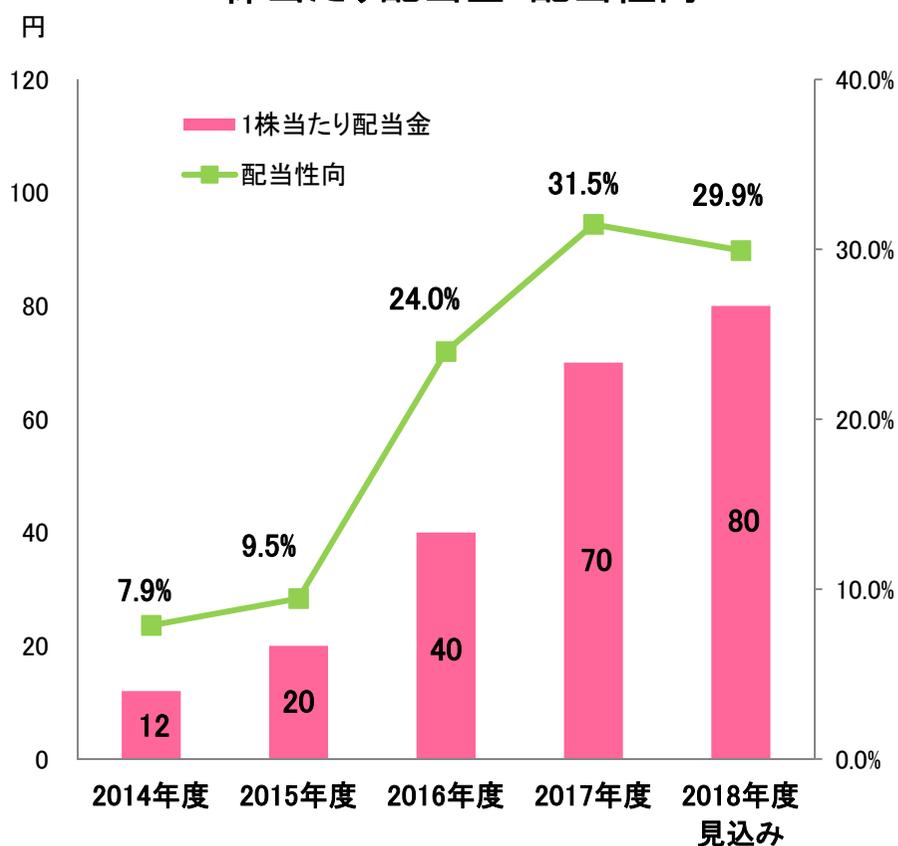
財務体質と株主還元

株主資本比率は高水準をキープ、配当性向は30%目安

手元資金・自己資本比率

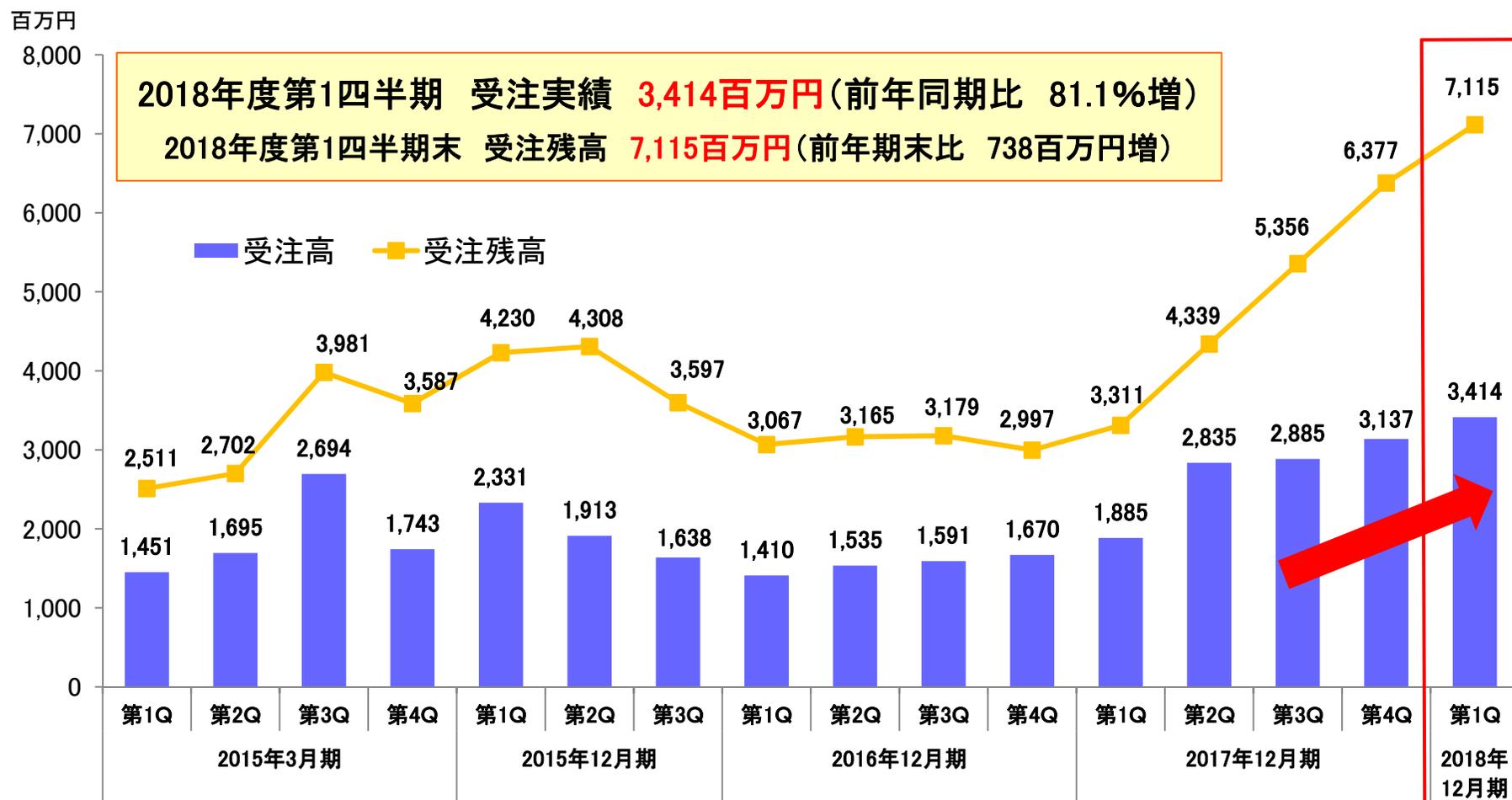


1株当たり配当金・配当性向



受注高・受注残高(四半期別推移)

過去最高の受注額を4期連続(四半期別)で更新

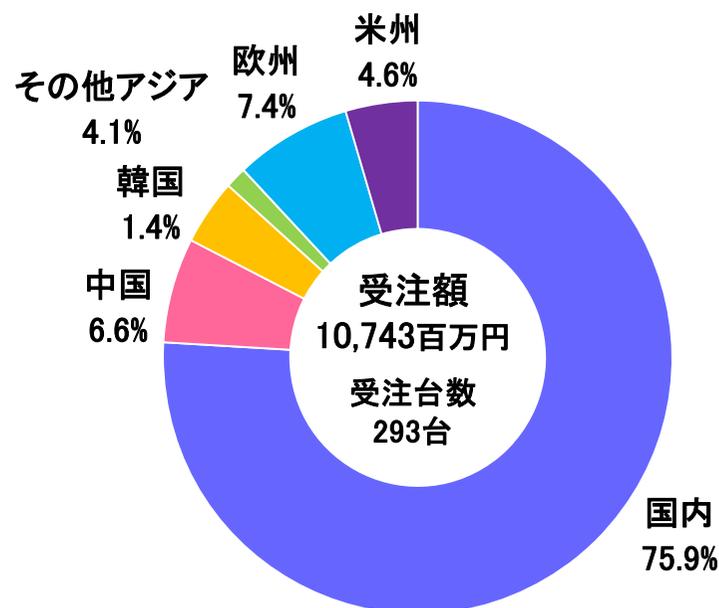


※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

海外受注比率と受注金額(据付地ベース)

国内自動車関連企業からの中国向け 大口リピート受注を獲得

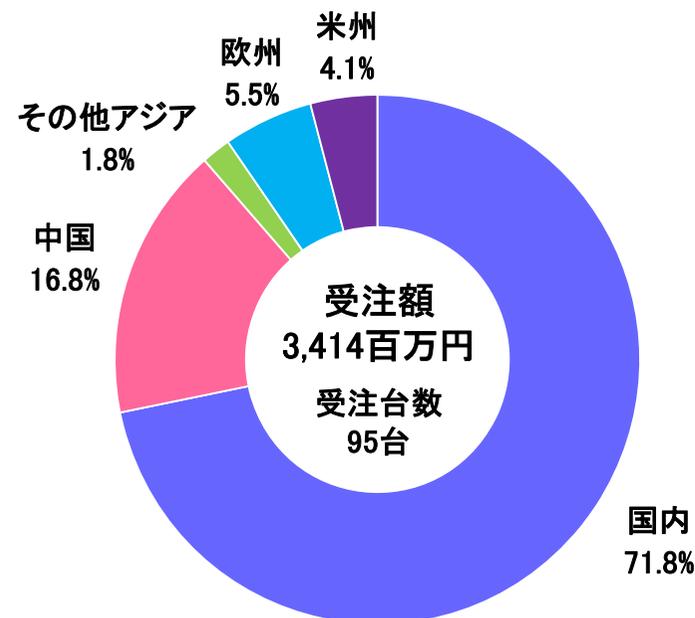
2017年度 通期



海外24.1%

うち海外現地ユーザ16.4%

2018年度 第1四半期



海外28.2%

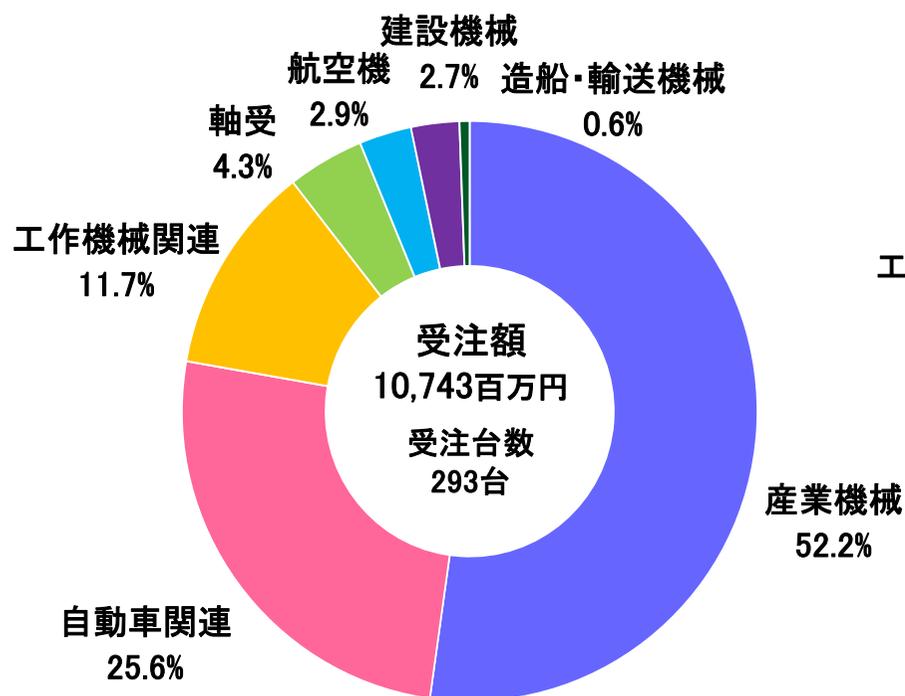
うち海外現地ユーザ18.5%

ユーザ業種別受注比率(受注金額ベース)

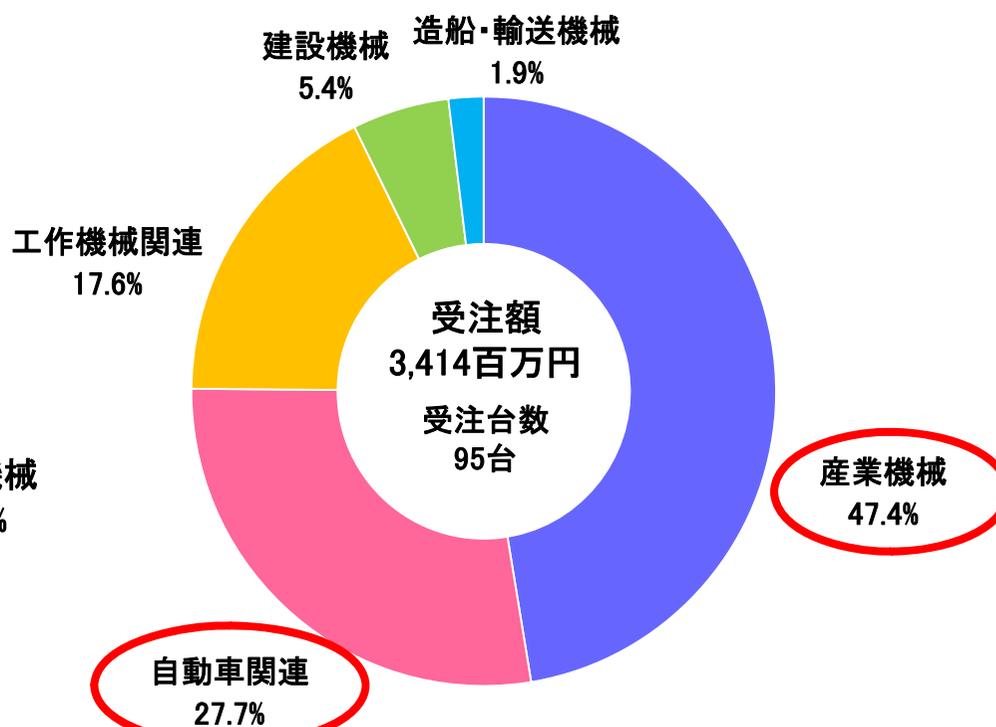
引き続き国内の設備投資が活発

産業機械・自動車関連企業から大口・複数台受注を多数獲得

2017年度 通期



2018年度 第1四半期



当社の取り組み

2018年度の展示会出展状況

DMG森精機(株) Pfronten オープンハウス
2018年1月30日(火)~2月3日(土)
会場:ドイツ



Grind Tec 2018
2018年3月14日(水)~3月17日(土)
会場:ドイツ



- ・ドイツを中心に海外のお客様に当社製品の技術力をアピールする絶好の場となった。
- ・Pfrontenオープンハウスでは、会期中に受注を獲得。

生産体制－今後の課題－

現状

月当たり約10億円、台数約28台の生産能力(工場スペース)

主な施策

①工場スペースの有効活用

- ・組立スペースの拡大
- ・部品倉庫の確保

②タイムリーな部品調達

- ・標準部品の先行手配
- ・ロット生産によるまとめ発注

③サプライヤーとの関係強化

- ・地元協力会社との取引強化
- ・新規サプライヤーの開拓

④人材の確保・育成と

社内ノウハウの標準化・習熟

更なる工場スペースを確保し、生産能力の増強を図る。

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>